

みんなで育てる子ども 地域で支える学校

学校支援地域本部事業

# 学校支援ボランティア ハンドブック



担当者

このハンドブックは、地域の皆さんが学校を支援するボランティア活動をする際の手引きとして作成したものです。地域がもつさまざまな力(教育力)を学校の活動にたくさん活かしていきましょう。

今日は、小学校に行って、子どもたちが裁縫するときのお手伝いをするのさ!



きょうちゃん、しんちゃんが通う  
教振小学校の支援ボランティア

今日の家庭科の時間は、地域の方がいらして、縫い方を教えてくれるんです。

最近、おばあちゃん、いきいきしてきましたね!



楽しみだ〜い!

きょうちゃん

しんちゃん

- ◎ 学校支援ボランティアとは
- ◎ 学校支援ボランティアをはじめよう!
- ◎ 学校について知っておこう!
- ◎ 活動をする際の留意点
- ◎ 学校支援ボランティアの活動の紹介

岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会

# 学校支援ボランティアとは



教振小学校区の住民

私は、きょうちゃん、しんちゃんが通う  
教振小学校区に住んでいます。  
先日、地区の回覧板で、学校を支援するボランティアを  
募集していることを知りましたが、  
「学校支援ボランティア」とは何ですか？  
教えてください。

## 『学校支援ボランティア』とは

子ども達の教育のために役立ちたいという思いを持って、学校の  
学習活動や学習環境整備などを支援する人のことです。  
（「教育ボランティア」と呼ばれることもあります。）

### この学校支援の特色は

- ① 「できる人」が、「できるとき」に、「できること」をします。
- ② 子どもの健やかな成長を願い、先生方と一緒に協力し合いながら、学校をよりよくしていく活動です。
- ③ 金銭的なお礼を求める活動ではありません。ボランティア活動に対するお礼は、子どもたちの「笑顔」と「ありがとうのことば」です。
- ④ 学校を中心に地域の人とのつながりを深め、よりよい地域づくりを目指していく活動です。

この活動のメリット（よさ）は、下記のように、子ども、学校、地域住民のそれぞれにあります。



担当者

## メリット

### 【子ども】

- ・ 学びが深まる。
- ・ 規範意識や行動意欲が高まり、思いやりの心が育つ。
- ・ 地域の人との交流が深まり、地域社会の一員としての自覚が高まる。

### 【学 校】

- ・ 子どもの学習意欲が高まり、よく分かる授業ができる。
- ・ 地域や保護者との連携が深まる。
- ・ 学校が地域に開かれ、活性化する。
- ・ さまざまな教育活動の質が高まることが期待できる。

### 【地 域】

- ・ 生きがいづくりや自己実現が図られる。
- ・ 社会参加の場が得られる。
- ・ 地域社会（地域コミュニティ）が活性化し、地域づくりが促される。
- ・ 地域や家庭の教育力が高まる。

# 学校支援ボランティアをはじめよう!

子ども達のために自分のできる  
お手伝いをしたいと考えている地域の皆さんが、  
どのようにすれば学校支援ボランティアとして  
活動することができるのか、  
ということについてお話します。



## 1 学校ではどのような支援活動を求めているのかを知ろう!

学校・学年・学級だよりや学校のホームページなどで情報を探してみま  
しょう。  
学校の副校長先生や担任の先生、地域連携窓口担当の先生やPTA役員  
の方々に聞いてみましょう。

## 2 学校に行ってみよう!

自分ができるボランティア活動が決まったら、地域コーディネーターや  
副校長先生、地域連携窓口担当の先生などに前もって連絡を取り、相談し  
てみましょう。

## 3 できる活動内容を話し合おう!

ボランティアの受け入れが決まったら、活動のしかたや留意点を打ち合  
わせましょう。

## 4 活動を行おう!

自信を持って、子どもたちのために活動に取り組みましょう。

## 5 活動をふりかえろう!

活動について先生方と話し合ひましょう。  
自分の活動の様子を記録し、次回の活動に役立てましょう。

# 学校について知っておこう!



私は、今度、教振小学校で  
学校支援ボランティア活動をすることになりました。  
活動する前に、学校について、  
様々なことを知りたいので、教えてください。

学校の一日の流れや考えられる支援内容、  
学校はどんなところかということについてお話します。

学校の一日の流れは、小中学校ごとに若干の違いがありますが、  
おおむね次のようになっています。(学校によって、月や曜日によって違いがあります。)  
1時限の授業時間は、小学校は45分、  
中学校は50分が基本です。



始まり	終わり	1日の流れ
7:45 ~	8:15	登校
8:15 ~	8:30	職員打合せ
8:30 ~	8:40	朝の会
8:40 ~	10:15	1・2校時
10:15 ~	10:30	業間休み
10:35 ~	12:10	3・4校時
12:10 ~	13:25	昼食
13:25 ~	13:45	清掃
13:50 ~	15:25	5・6校時
15:25 ~	15:40	帰りの会
放課後		・学年や曜日によって放課の時刻が 変わります。

先生方の動き	考えられる支援内容(例)
校門等であいさつ運動 授業の準備	通学路の交通安全指導
連絡事項等の確認	読み聞かせ
出欠確認、連絡	
授業	学習や活動の支援
各種活動の指導	読み聞かせ 図書貸し出し支援
授業	学習や活動の支援
昼食指導	配膳の際の支援 図書貸し出し支援
清掃指導・見回り	清掃活動の支援
授業	学習や活動の支援
明日の学校生活の確認	
明日の授業準備 放課後(部活動等)活動指導 職員会議、研究会 その他の事務作業	図書館整備の支援 放課後学習の支援 放課後活動の支援 通学路の交通安全指導

先生方の一日のスケジュールは、ぎっしりとつまっています。  
突然、学校に行っても先生方は授業などのため、対応できないことがあります。  
打ち合わせをするためには、事前に連絡を取り、時間を確保しましょう。

また、予定していたボランティア活動に急きょ参加できなくなったときは、  
地域コーディネーターに連絡をするか、朝の職員打合せに  
間に合うよう連絡する必要があります。

学校は、木曜日に職員会議や研究会を行うことが  
多いこともお伝えしておきます。

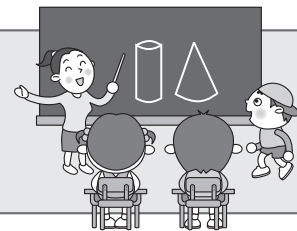


次に、学校はどんなところか  
ということについてもお話します。



1 学校には、「こんな子どもに育てほしい」という願いを込めた学校教育目標があります。  
これは、子どもや地域の実情をふまえて学校ごとに決められています。

2 授業や学校行事など1年間の教育活動計画があります。計画  
に沿って、1年間、1か月間、1週間、1日の活動が行われます。



3 1時間ごとの授業には、ねらいと習得すべき内容があります。子どもが考える時間を大切  
にしながら、おおむね導入・展開・まとめの3段階で計画的に授業が行われます。

4 先生方は、授業以外にも学校の仕事があります。それぞれの仕事は「校務分掌」といって、  
子どもの安全、学校行事や地域との交渉などの仕事を分担して行う組織があり、それぞれ  
担当する業務を行っています。

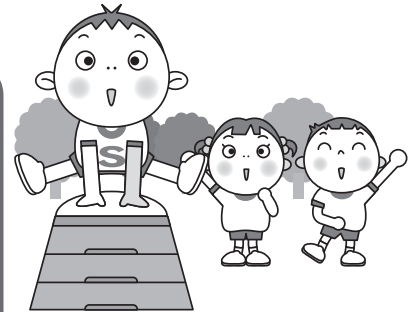
5 学校では、常日頃子どもの安全について、最善の注意をはらっています。したがって、突然  
の来校者・訪問者には、必ず来校の目的を確認し、来校者名簿に記入してもらったり、来校者  
名札をつけてもらったりしています。



最後に、子どもたちについても知ってもらうために、子どもたちの発達段階ごとの特徴をお話します。

### 小学校低学年（１・２年生）

- 学校生活のきまりや基本を学ぶ時期です。
- 男女区別なく仲よく遊んだり活動したりすることができます。
- 何にでも興味関心を強く示し、一生懸命に取り組みます。

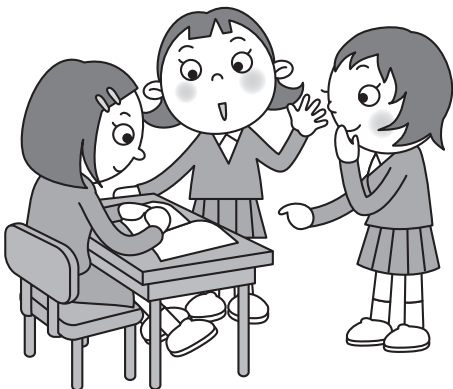


### 小学校中学年（３・４年生）

- 学習や運動に活発に取り組み、個性を発揮する時期です。
- 自己主張が目立つようになる一方、仲間意識が育ち、学級やグループなどの組織的な活動にも意欲的に取り組みます。
- 体験的な活動に主体的に参加するようになります。

### 小学校高学年（５・６年生）

- 男子と女子の体格の変化が目立ち、お互いを意識する時期です。
- 学習課題に向かって、計画的に学習が進められるようになります。
- 下学年と一緒に活動する縦割(たてわり)班活動などでは、リーダーとして活動できます。



### 中学生

- 体格、精神的にも、女子の方がやや早く落ち着いてきます。
- 反抗したり自己主張したりするなど、心の発達が著しい時期です。
- 社会体験活動などを通して、自分の進路を考えるようになります。

# 活動する際の留意点



学校支援ボランティアとして活動する際の留意点は、次のとおりです。活動をする前に一読してみましょう。

## その1 子どもをほめましょう!

子どものよいところを見つけてほめてあげてください。ほめられるのが嫌な子どもはいません。ほめることで子どもは喜び、意欲的に活動するようになります。

先生以外の方の視点から自分のよさと認めてもらえたら、子どもはどんなにうれしいことでしょう。

## その2 自信を持って大きな声で話しましょう!

せっかく子どもたちのために役に立つ話でも、聞こえなければ子どもたちに伝わりません。自信を持って大きな声で話しましょう。

## その3 明るく元気よくあいさつをしましょう!

あいさつは人間関係の入口であり、心と心の架け橋です。明るく元気よくあいさつをしましょう。

## その4 教えるために話すことを多くすることなく、子どもに考えさせたり、作業させたりする時間を多めにとりましょう!

一度に多くのことを話しても、子どもたちは理解することはできません。伝えたいことのポイントをしぼり、言葉遣いに注意して話しましょう。

## その5 活動に気づいたことは、遠慮せず先生方に報告・相談しましょう!

活動する中で、気になったり、対応に困ったりしたときには、そのままにせず、先生方に相談しましょう。

## その6 活動で知り得た子どものプライバシーは守りましょう!

学校で知り得た子どもの情報等が外部に漏れることで、子ども本人はもちろんのこと、学校の先生方、子どもの家族が辛い思いをします。学校の先生方は地域の方々に信頼しています。

## その7 学校や先生の悪口は、子どもの前や地域で絶対に言わないようにしましょう!

学校や先生の悪口を話すことは、子どもたちにとって好ましいことではありません。子どもは学校や先生に対して不信感を持つようになり、学校教育が成り立たなくなります。

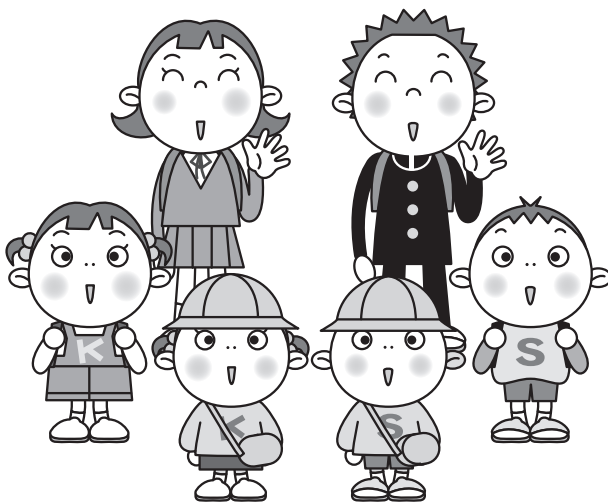
## その8 どんな場合でも体罰を行ってはいけません!

子どもをたたいたり、殴ったりすると、子どもは大人になった時に、同じように暴力をふるうようになります。

## その9 政治や宗教に関する話をする場合は、中立の立場で話しましょう!

学校は、特定の政党を支持したり、これに反対するための政治教育、政治的活動をしてはいけないことになっています。

また、特定の宗教のための宗教教育、宗教的活動もしてはいけないことになっています。



地域の皆さんが来てくれて、いろいろなことを教わることを楽しみにしています。



# 学校支援ボランティアの活動の紹介



学校支援ボランティア活動には、  
以下の例のようにいろいろな活動があります。

## ○学習活動支援

- 国語（書写、短歌、俳句 など）
- 算数・数学（計算・そろばん など）
- 理科（実験補助、実験器具準備、植物栽培、動物飼育 など）
- 社会（地域の地理・歴史、社会科見学引率 など）
- 外国語活動・外国語（英会話、英語の歌・ゲーム など）
- 体育・保健体育（陸上、球技、水泳、スキー など）
- 音楽（楽器指導、合唱指導、ブラスバンド指導 など）
- 図画工作・美術（絵画、工作、彫刻 など）
- 家庭・技術家庭（木工、金属加工、ミシン、裁縫、調理実習、情報 など）
- 生活科・総合的な学習の時間（地域の産業、稲作、果樹、国際理解、環境、福祉 など）
- 道徳（体験談、教材準備など）
- 特別活動（学校行事以外）
- その他（学習指導補助、校外学習の引率補助、放課後学習支援 など）
- 読み聞かせ



## ○登下校安全指導

- 登下校の通学路の安全指導
- 校舎内・学区内の安全パトロール など

## ○学校行事への支援

- 運動会、学習発表会、文化祭 など



## ○部活動指導

- 各部活動の指導（文化部活動・運動部活動の指導・補助など）
- 練習試合の引率補助

## ○環境整備

- 校舎等の補修・清掃など
- 花壇の整備・植木の剪定
- 学校図書室の環境整備 など



できる  
ときに

できる  
ことを

できる  
ところから

心豊かな子どもを育む  
家庭教育

いわてが誇る  
教育振興運動

地域にHAPPYな  
みんなの居場所



---

学校支援地域本部事業  
学校支援ボランティアハンドブック

平成23年2月発行

発行：岩手県家庭・地域教育力向上支援委員会  
(岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課内)

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 県庁10F  
電話 019-629-6176 FAX 019-629-6179

---